
ニュースレター・JASESS No.96

社会・経済システム学会 2017年10月18日

■社会・経済システム学会第36回大会のご案内

第36回大会は、芝浦工業大学豊洲キャンパスで開催されます。ふるってご参加ください。

大会テーマ：「社会・経済システムの中の多様性と分断」

開催日：2017年11月18日（土）・19日（日）

場所：芝浦工業大学 豊洲キャンパス

大会実行委員長：小山 友介会員

連絡先：〒337-8570 さいたま市見沼区深作 307 芝浦工業大学大宮キャンパス

システム理工学部 経済システム分析研究室内

社会・経済システム学会大会実行委員会

e-mail: yuhsuke@shibaura-it.ac.jp

【大会テーマ趣旨説明文】

「日本人はすぐに“We Japanese”と叫ぶ」と揶揄されるように、日本人は自分たちを比較的同質だと考えているだけでなく、外部からもそう考えられていると信じてきた。日本は南北に長く、地域によって多様な文化や風習が存在する。そこには様々な価値観を持った人々が住んでいるが、そういったものを押し流せる程度に“We Japanese”という表現にリアリティが感じられた時代が存在した。確かに、9割の人が自分を中流と考えていた同質の時代がそこにはあった。

しかし、近年の研究者やマーケッターは、格差社会、マイルドヤンキー、学歴分断線、スクールカーストなど、日本人の中にある「生活世界の分断」を発見し続けている。現在の日本人は良くも悪くも多様化し、“We Japanese”という表現がもつリアリティはずいぶん弱まっている。現在は、同じ職場内・クラス内ですら“We”という単語で表現できない時代になった、と言っていいだろう。

こういった日本人の分断・多様化は、まさに社会・経済の両方のメカニズムの作用によって生じたものである。今大会では、日本的な社会・経済システムの過去と現在についての議論を進める中で、日本的な社会・経済システムの未来について考察を深めたい。

■第36回大会プログラムについて

第36回大会プログラム「紙版」は、本ニュースレター（紙版）に同封しました。どうぞご確認ください。また、本ニュースレター（紙版）送付と前後して、第36回プログラム「電子版」を会員一斉メールにて送付いたします。あわせてご利用ください。

■『社会・経済システム』第37号について

学会誌『社会・経済システム学会』第37号（2016年10月刊行予定）は、諸般の事情により、完成・発行に至るまで多大なる時間を要しましたが、このたび、ようやく完成し、本ニューズレター（紙版）と同時発送にて会員の皆様にお届けすることができました。

会員の皆様には長らくお待たせをしまして、誠に申し訳ございませんでした。重ねてお詫び申し上げます。

■『社会・経済システム』第38号について（2017年度内刊行予定）

学会誌『社会・経済システム学会』第38号（2017年度内刊行予定）は、第35回大会関連論文、一般投稿論文により構成される予定で、現在編集作業中です。

詳細についてはすでに会員一斉メールにてお知らせしましたが、本学会公式ウェブサイトでも最新情報を確認できます。あわせてご確認ください。

URL <http://jasess.jp/j>

■第35回大会は好評裡に終了しました。

社会・経済システム学会第35回大会は、「人口減少時代の社会・経済システム」と題する大会テーマのもと、2016年10月29日（土）・30日（日）の両日、和歌山大学で開催されました。

大会1日目午後には、「人口減少時代の地域経営」と題して、山田桂一郎先生（JTIC.SWISS, 和歌山大学）にご講演いただきました。大会テーマのもと、両日にわたり分科会・企画シンポジウムにおいてそれぞれの報告者からこの分野における研究の最新動向について報告が行われるとともに、大会は盛況のうちに終了することができました。大会の開催に尽力されました和歌山大学の出口竜也実行委員長をはじめとする大会実行委員の皆様のご尽力に深く感謝いたします。

■シニア会員制度について

2016年10月29日（土）の総会において、3名の方につきまして、2017年度からの「一般会員」から「シニア会員」への会員資格変更が承認されました。次年度に関しましては、以下の要件を満たす会員が、2017年度理事会および総会の承認を受けて、「シニア会員」（2018年度以降の会費納入の義務なし）となることができます。

1. 満65歳以上であること。
2. 10年以上の正会員歴をもち、会費を完納していること。

2018年度からの「シニア会員」への資格変更をご希望の方は、11月上旬までに、学会事務局（office@jasess.jp）までご一報をお願いいたします。

■2017～18年度社会・経済システム学会理事会について

2016年10月29日（土）、役員選挙を経て、2017年4月1日付で新理事会体制が発足しております。詳細につきましては、近日中に学会公式ウェブサイトを更新し、告知いたします。

■2015 年度会計報告および 2016 年度予算

2016 年 10 月 29 日 (土) の総会で承認された 2015 年度決算と 2016 年度予算について、次のとおりご報告申し上げます。

社会・経済システム学会 2015 年度 会計報告

1. 収支決算書(2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)

支 出		収 入	
通信費	109,978	会費	1,075,000
消耗品費	24,526	一般会員	(959,000)
アルバイト謝金	14,240	学生会員	(116,000)
大会運営費	302,808		
理事会費	38,254	利子	1,058
学会誌編集委員会費	81,648	三菱東京 UFJ 銀行(普通)	(341)
(財)日本学術協力財団分担金	50,000	ゆうちょ銀行(普通)	(717)
印刷費(機関誌第 35 号等)	528,768		
関東部会費	26,792	機関誌バックナンバー販売	102,075
当期支出小計	1,177,014	当期収入小計	1,178,133
次期繰越金	4,587,201	前期繰越金	4,568,082
合計	5,764,215	合計	5,764,215

2. 貸借対照表(2015 年 3 月 31 日現在)

借 方		貸 方	
現 金	0	次期繰越金	4,587,201
三菱東京 UFJ 銀行(普通)	1,592,563		
ゆうちょ銀行(普通)	2,994,638		
合計	4,587,201	合計	4,587,201

社会・経済システム学会 2016 年度 予算

予算 (2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)

支 出		収 入	
通信費	110,000	会費	1,420,000
消耗品費	30,000	一般会員	(1,260,000)
アルバイト謝金	15,000	学生会員	(160,000)
大会準備費	30,000	機関誌バックナンバー販売	20,000
大会運営費	400,000		
理事会費	70,000		
学会誌編集委員会費	90,000		
(財)日本学術協力財団分担金	50,000		
印刷費(機関誌第 37 号等)	530,000		
関東部会費	30,000		
関西部会費	30,000		
HP システム保守費	65,000		
当期支出小計	1,450,000	当期収入小計	1,440,000
予備費	4,577,201	前期繰越金	4,587,201
合計	6,027,201	合計	6,027,201

■新入会員紹介

次の方々の入会が2016年10月29日（土）の総会で承認されました（敬称略）。

	氏名	所属	専門分野	区分
1	チョウ ソウ 趙 壯	福岡大学大学院経済学研究科	経済学	学生
2	マツモト タカシ 松本 隆史	近畿大学大学院経済学研究科	経済学	学生
3	リ フェン 李 文	同志社大学大学院	社会学	学生
4	アイザワ シヅ 藍澤 志津	マルチメディア振興センター	英国・インドの ICT 市場と 政策	一般
5	シブキ ユキ 澁谷 遊野	東京大学大学院学際情報学府	社会情報学	学生
6	テラヤマ ヒカリ 寺山ひかり	東京大学大学院学際情報学府	学際情報学	学生
7	カワヤマ リナ 川山 里菜	福岡大学大学院	経済学	学生
8	コモリケンイチロウ 小森賢一郎	東京工業大学情報理工学院	社会シミュレーション	学生

■会費納入のお願い

該当する会員の皆様には、8月上旬に、年会費納入のご案内と会費納入の払込用紙（ヤマトフィナンシャル社〔収納代行業者〕の様式）の入った封書をお送りしております。用紙が届いていないという会員の皆様は、学会事務局 (office@jassess.jp) までご一報をお願いいたします。また、記載の誤り、もしくは疑問点等に関しましても上記アドレスで受け付けます。

今年度も会費ご納入のほど、よろしくお願い申し上げます。

■変更届提出のお願い

ご住所、ご所属、その他、会員情報にご変更がございましたら、上記学会事務局 (office@jassess.jp) までお知らせください。

また、変更・入会・退会に関する手続きについては、学会公式ウェブサイトの

<http://jassess.jp/info/admission.html> からご覧になれます。

* ニュースレター等配布物の返送が相次いでおります。送付先変更がございましたら、速やかに上記事務局メールアドレスまでお知らせくださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。